

2月19日～ 市民春山登山下見

西川 洋

山名	愛鷹山(越前岳)・金時山		山行名	春山下見登山
ルート	新東名高速 — 新富士IC — 十里木 — 越前岳 往復 金時神社 — 金時山			
山行日	令和4年2月19日～20日	天候	小雨/曇り	
参加者	CL:西川 SL:藤村 木元 北條			
十里木公園 ↑↓ 愛鷹山(越前岳)	越前岳コースタイム		平坦地	13:10
	十里木公園	11:30	頂上	13:30
	天望台	11:45	十里木公園	15:00
	電波塔	12:20		
	馬の背見晴台	12:40		
愛鷹山は、9つの峰からなる山であり、富士山の南側に位置し、富士に背を向けた格好で登ります。駐車場のすぐ横から登り始め、見晴台電波塔と徐々に高度を稼ぎます。木の根の道がよく知られているようで段差が多少大きいようです。今回の下見では雪に覆われていたので、まだ比較的歩きやすかったようです。頂上の手前の平坦地でのビューポイント、当日は晴れて最高の展望を楽しんでもらいたい。山頂からは駿河湾の眺めも美しく、樹高が低くなったところで木々を抜けると、海の景色も広がります。 富士の東に位置する金時山、ここは箱根町。金時神社にて安全祈願をして、金時神社から登るのが一番乗りやすそうである。2月20日日曜日は雨が降っており足元も悪く、また一昨年も同じルートを通っているのも無理をせず、林道を進みました。頂上には2軒の茶屋があり、まさかカレーうどんと、看板娘の婆さんとなめこの味噌汁が有名らしい。 ヒヤリハット なし				

越前岳からは晴れであれば目の前に富士山の大パノラマを眺めるはずであるが、富士山はガス雲の中で麓の平原しか見えなく残念であった。宿は箱根外輪山山麓の研修・宿泊施設である。青年達が泊まれるよう今風のおしゃれな場所であり、雑然とした山小屋とは異なり全てがスマートな所である。5月下旬の山行当日には、若者で溢れ、春山参加者は若者と触れ合い、遠い青春時代を懐かしむこと請け合いです。宿から金時山登り口まで車で20分程度しか要せず、その分、早朝宿でゆっくりと周辺の散策や富士山を眺めることができ、まことに良い宿をCLが探し当てました。 藤村 敏幸



市民春山登山説明会

日時、場所 : 4月10日(日) 19:00～20:30 中央体育館第一会議室  
 ※説明会の席で参加費(23,000円)を徴収します。  
 申込締切 : 4月4日(月) 17:00  
 申込先 : 西川、藤村、木元、北條